

【経済状況】 経済大国日本から平成不況へ

80年代 経済大国への成長 ←石油危機からの早い脱出 ……マイクロエレクトロニクス  
企業の<sub>1</sub>減量経営…人員整理、合理化、自動化(<sub>2</sub>産業用ロボット、<sub>3</sub>MEの普及) ※米国の双子の赤字  
貿易収支は長期の<sub>4</sub>黒字・<sub>5</sub>円高傾向 →欧米との<sub>6</sub>貿易摩擦  
→1985. <sub>7</sub>プラザ合意 ……<sub>7</sub>五カ国蔵相会議(G5)で円高ドル安への誘導に合意  
→急激な円高の進行と不景気(<sub>8</sub>円高不況)…1ドル240円台から160円台へ  
→その後、再び好景気=<sub>9</sub>バブル景気 (1987末～1992年初)…株価・地価など実態とかけ離れる  
☆1人あたり国民所得はアメリカを越える 政府開発援助(ODA)も世界最大に  
☆総評解散(1989)→<sub>10</sub>日本労働組合総連合会(<sub>11</sub>連合)に合流 労働運動は低迷 <例>低い加入率  
☆<sub>12</sub>農産物の輸入自由化問題…<sub>13</sub>牛肉・オレンジ(1988) ※<sub>14</sub>コメ(1993)

90年代以降 <sub>15</sub>バブル崩壊(1999年初)…株価・地価の下落  
→不良債権による金融機関の経営悪化 →<sub>16</sub>平成不況(複合不況)の長期化

【国際情勢】 冷戦の終結と新たな混迷

冷戦の終結…東西両陣営の経済的疲弊 特に東側(共産主義)の崩壊  
1985. <sub>17</sub>ペレストロイカ…<sub>18</sub>ゴルバチョフによるソ連の改革  
→東欧諸国の民主化運動(社会主義の放棄)激化 例：<sub>19</sub>ベルリンの壁崩壊、<sub>20</sub>東西ドイツ統一  
1989. マルタ島での米ソ首脳会談(マルタ会談)で冷戦終結を宣言 1991. <sub>17</sub>ソ連崩壊  
中東と米国 1980. <sub>18</sub>イラン・イラク戦争(~1988) ←アメリカはイラクを支援  
1990. <sub>19</sub>イラクがクウェートへ侵攻 →1991. <sub>20</sub>湾岸戦争…米中心の多国籍軍  
2001. <sub>21</sub>アメリカ同時多発テロ →2001. アフガン空爆、2003. イラク戦争  
国連活動への注目 例：<sub>22</sub>PKO(平和維持活動)、<sub>23</sub>PKF(平和維持軍)

【センター正誤問題に挑戦】 <2003年度A本試験, 2004年度A本試験より>

- ① 中曽根康弘内閣によって、所得倍増計画が打ち出された。
- ② 湾岸戦争を契機に、日本は国連平和維持活動(PKO)への自衛隊派遣を開始した。

- 24 <sup>ぜんこう</sup>鈴木善幸 1980. 7～1982. 12 与党：自民  
25 第二次臨時行政調査会(臨調)…会長<sup>どこうとしお</sup>26 土光敏夫「増税なき財政再建」
- 27 <sup>ちそうねんこう</sup>中曽根康弘 1982. 11～1987. 11 与党：自民  
アメリカとの関係強化「戦後政治の総決算」 防衛予算の拡大→28 防衛費がGNP 1%突破  
行政改革 例：29 三公社の民営化…30 NTT(電電公社)、31 JT(専売公社)、32 JR(国鉄)
- 33 <sup>たけした</sup>竹下登 1987. 11～1989. 6 与党：自民  
34 リクルート事件(1988) 昭和天皇没(1989. 1) 35 消費税導入(1989：3%)→総辞職
- 36 <sup>そうすけ</sup>宇野宗佑 1989. 6～8 与党：自民  
参議院選挙で自民党大敗(参院では与野党逆転)→総辞職
- 37 <sup>かいふ</sup>海部俊樹 1989. 9～1991. 11 与党：自民  
38 湾岸戦争(1991)…多国籍軍へ資金支援 39 戦後、自衛隊の掃海艇をペルシア湾へ
- 40 <sup>みやぞき</sup>宮沢喜一 1991. 11～1993. 8 与党：自民  
佐川急便事件 41 PKO協力法可決(1992)→42 自衛隊をカンボジアへ派遣  
43 自民党の分裂→44 新生党(小沢一郎)・45 新党さきがけ(武村正義)結成 →46 内閣不信任案可決  
→解散総選挙 →自民党過半数に届かず (47 5 年体制崩壊)
- 48 <sup>もりひろ</sup>細川護熙 1993. 8～1994. 4 与党：49 日本新党、新生、社会、公明、新党さきがけなど8党連立  
……………50 日本新党党首 前熊本県知事 突然辞任(佐川急便事件疑惑)
- 51 <sup>つとむ</sup>羽田孜 1994. 4～6 与党：新生、日本新、公明党など5党連立(社会党が離脱→少数与党)
- 52 <sup>むらやま</sup>村山富市 1994. 6～1996. 1 与党：社会党(→社会民主党)・自民・さきがけ3党連立  
……………社会党委員長 戦後50年の不戦決議と談話(村山談話) 53 新進党結成(1994)
- 54 <sup>はしもと</sup>橋本龍太郎 1996. 1～1998. 7 与党：自民・社会民主・さきがけ3党連立→自民党単独内閣(1996. 10)  
55 民主党結成(1996) 56 日米防衛協力のための指針改定(新ガイドライン)(1997)  
消費税率引き上げ(1997：5%)→自民党は参議院選挙で敗北
- 57 <sup>こし</sup>小淵恵三 1998. 7～2000. 4 与党：自民 のち公明・保守などと連立
- 58 <sup>よしろう</sup>森喜朗 2000. 4～2001. 4 与党：自民・公明・保守の3党連立
- 59 <sup>こいずみ</sup>小泉純一郎 2001. 4～2006. 9 与党：自民・公明(当初は保守党も)連立  
60 テロ対策特別措置法(2001)←アメリカ同時多発テロ 日朝首脳会談(2002)  
自衛隊をイラクに派遣(2004) 61 郵政民営化法(2005)
- 62 <sup>あべ</sup>安倍晋三 2006. 9～2007. 9 与党：自民・公明 参議院選挙で与党過半数割れ(2007) ※岸信介の孫
- 63 <sup>ふくだ</sup>福田康夫 2007. 9～2008. 9 与党：自民・公明 ※福田赳夫の子
- 64 <sup>あしな</sup>麻生太郎 2008. 9～2009. 9 与党：自民・公明 衆議院選挙で民主党大勝(2009) ※吉田茂の孫
- 65 <sup>たかやま</sup>鳩山由紀夫 2009. 9～2010. 6 与党：民主・社会民主・国民新党の3党連立 ※鳩山一郎の孫
- 66 <sup>あらい</sup>菅直人 2010. 6～2011. 9 与党：民主・国民新党の連立
- 67 <sup>のりひこ</sup>野田佳彦 2011. 9～2012. 12 与党：民主・国民新党の連立
- 68 <sup>あべ</sup>安倍晋三(II～) 2012. 12～ 与党：自民・公明 消費税率引き上げ(2014：8%)

バブル景気